

# せいしんがい報

2011年1月1日 第87号

注目記事

◆1ページ◆ 年頭のあいさつ

救護施設やしおみ荘  
〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切27  
☎(0246) 89-3333 ㊟(0246) 89-3334

知的障がい者通勤寮 レジデンスなごそ  
〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1  
☎(0246) 78-1336 ㊟(0246) 65-4160

ケアホーム・グループホーム  
メゾン・ド・あたご、メゾン・ド・ほりぎり、コーポおかおな

指定相談事業・地域生活相談室せんとらる  
〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1  
☎(0246) 65-5222

知的障がい者更生施設ふじみ更生園  
ショートステイほっと  
〒972-0252 福島県いわき市遠野町上根本字白坂384  
☎(0246) 89-3400 ㊟(0246) 89-3454

虹のかけはし  
〒974-8261 福島県いわき市植田町中央3-1-7  
植田ビル2F  
☎(0246) 77-2885 ㊟(0246) 77-2886

ワークセンターしおさい  
〒971-8161 福島県いわき市小名浜諏訪町11-10  
☎(0246) 73-2077 ㊟(0246) 73-2078

手打ちうどん 天眞庵  
〒974-8212 福島県いわき市東田町2-11-7  
☎(0246) 77-2033

ヘルパーステーションあくていぶ  
〒974-8261 福島県いわき市植田町中央3-1-7  
植田ビル3F  
☎(0246) 62-8810 ㊟(0246) 62-8810

児童デイサービスちゃーむ・日中一時支援事業ウイズ  
〒971-8166 福島県いわき市小名浜愛行上13-23  
☎(0246) 73-2033 ㊟(0246) 73-2034



## 至福の年がきますように

社会福祉法人 誠心会  
理事長 松崎 有一

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は、多くの方から陰に陽に当法人に対しご支援を賜りましたことに対し、本誌をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は、世界では米中間選挙で与党民主党が敗北、欧州の財政・金融危機、通貨安が激化、チリ鉱山事故での作業員救出、北朝鮮の韓国に向けた砲撃等、の事件が起きました。

一方、我が国では、宮崎県での口蹄疫の被害拡大、観測史上最高の猛暑、参議院議員選挙で民主党大敗によるねじれ国会での政治の混乱、円高の進行、尖閣諸島で中国漁船が巡視船に衝突、ビデオ流出事故など、大きな話題がありました。

このように、世界もわが国も政治、経済の混乱が続いた一年でありました。

障害福祉関係に目を向けて見ると、障害者総合福祉法の成立までに現在の障害者自立支援法の一部見直しとして、昨年の臨時国会において、いわゆる「つ

なぎ法案」が成立しました。

これらは、地域生活支援のための法改正でありました。その内容は、利用者負担の見直し、障害者の範囲の見直し、相談支援の充実、障害児支援の強化、地域における自立した生活のための支援の充実などでありました。

さらに、障害者制度改革推進会議においては、障害者制度改革の推進のための第二次意見「案」が出されました。それらは、大きく分けて障害者基本法の改正並びに基本的施策関係、そして、「障害」の表記の問題でありました。このように障害者福祉も大きく変容しようとしています。

しかし、法律改正があっても我々の基本は、その人がその人らしく生きていける社会作りに寄与することです。

株式相場には、「寅千里走り、卯跳ねる。辰巳天井」という格言があります。つまり、寅年で上昇気運が高まり、卯年で急上昇し、辰年で維持するというサイクルがあります。

このように、景気が回復し明るい話題の多い年になりますようご祈念申し上げましてご挨拶とさせていただきます。



## 新年を迎えて

救護施設やしおみ荘  
施設長 上遠野 重行

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は当施設の様々な事業運営に対しまして、地域の皆様をはじめとし多くの方々からの、ご支援・ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

本年も倍旧のご愛顧のほどお願い申し上げます。

昨年は経済不況と言われ、更には雇用不安を生みだし格差社会を助長しており、社会生活は一向に良くなる気配は見えない状況にあり、そんな中、最後

のセーフティネットと言われる生活保護制度についても、統計が示すように、ここ数年来保護率は上昇しており、救護施設においても、何らかの影響があるものと思われるところではありますが、救護施設が担うべき役割は変わりなく、利用者の自己実現と自立支援に向けて取り組んでいかなければなりません。

当施設としましては利用者の高齢化が進み、車いす等を利用しなければならない人が多くなってきております。個々人の特性にあった適切な支援を行っていかねばならないと考えており、職員一丸となって取り組んでまいりますので、今後とも皆様の御指導・御協力をお願い申し上げます。